

令和6年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	「災害時のトイレは命にかかわる」＜伊那市共催＞				
講座の目的	近年、地震や大雨などの災害で、トイレが使えなくなる問題が、クローズアップされている。被災時のトイレ環境の整備は、健康被害や性被害防止の観点からも深刻な課題である。避難所の設営や、避難所また自宅でのトイレの備えや環境の整備について、男女共同参画の視点も含めて学ぶ。				
募集対象	長野県内在住・在勤・在学の方				
定員人数	60名	申込人数	会場51名 後日配信 41名	当日参加 人数	会場51名 後日配信視聴回数 62回
申込方法	ながの電子申請サービス、電話、FAX、メール				
託児	申込者なし				
回数	1回				
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール（伊那市下新田 3050 番地）				
日時	9月21日（土）13:30～15:30				
講師	加藤 篤さん(NPO 法人 日本トイレ研究所 代表理事)				
開催内容	演題「災害時のトイレは命にかかわる～地域防災に男女共同参画の視点を～」 伊那市・伊那市民のつどい実行委員会・長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”共催講座				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・大変参考になり、お話も上手でした。もっと多くの方、子供にも聞いてほしいなと思いました。 ・切れ目ないトイレ環境の確保の大切さが重要であることを思い知りました。 ・家に備蓄してある携帯トイレを使って、確認しておこうと思います。具体的でとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。 ・多くの方々に傾聴してほしい! ・トイレの大切さを理解できた。 ・BCP や今後の地域防災などにあらためて役に立った。参考になりました。 ・昨年度も視聴しましたが、とても実用的で有益なご講演だと思います。大事なことと思いつつも、日々の忙しさの中で忘れてしまう重要なことですので、年に1度、このような講座で振り返りができるととてもありがたく思います。今回は能登半島地震のことなど、最新の情報も踏まえてお伝えくださり、とてもありがたいと思いました。 				



(加藤講師)



(会場の様子)



(簡易トイレ等の展示)